

R1 SG 台湾 FW

11/16 (土) , 17 (日)

今週末はいよいよ台北市内でのフィールドワークです。昨年度とは異なり、アテンドしてくれる大学生は、葉先生の教え子を中心に、日本語ができます。とても心強い味方と共に、生徒達はこれまで政治大学の先生方からいただいた助言を活かしながら、それぞれ街頭調査を行いました。

以下、生徒達がまとめた行程と感想です。

田原、岡崎、中田、三ヶ森

16 日は大安森林公演と民生公園に行き、街頭調査を行いました。子供連れの家族がたくさんいて、快くインタビューに応じていただきました。台湾の人のあたたかさを改めて感じることができた 1 日でした。

17 日は、台北 101 と台北市立動物園に行きました。台北 101 は高級ブランドのお店が多く、20 年後にまた来たいと思いました。動物園は人がとても多くて暑かったです。残念ながらパンダを見ることができませんでしたが、ライオンやゴリラに会えてよかったです。17,000 歩以上歩いたので、ダイエットになると思います。

伊藤、吉田

二二八和平公園と大安公園でアンケート調査を行いました。

人が来てくれなかったり目が合ったのに逸らされて通り過ぎられたりして悲しい気持ちになりました。でもそれ以上に、日本の高校生だと分かって協力してくれる人が多くて台湾の人は優しいなと改めて感じました。お菓子や聖書をくれる人もいて人の温かみを感じ、また、調査結果としては分かりやすく台湾人の傾向を掴むことができたので良かったです。

藤澤、岩脇、佐々木、立花

私たちはまず 1 日目午前中に大安森林公園で地元の方にインタビューをしました。

内容はかもめの玉子、南部せんべい、米粉入りゴーフレットを試食してもらい、どれが一番美味しいかを伺いました。結果はかもめの玉子が一番人気で、理由としては日本らしさが出ていることなどがあげられました。自分たちの予想通りではありつつも、理由が様々あり非常に興味深かったです。(咲耶、芽衣)

日本に行ったらどんなパッケージのお土産を最も買いたいと思うかを伺いました。

1. 日本らしい和風のもの
2. かわいいもの
3. 写真付きで分かりやすい物

の 3 つから選んでもらいました。結果は 1 と 2 が同じくらい多く、3 はとても少なかったです。このことからパッケージで必要なことは見た目の美しさ、特に高級感や特別感であるということがわかりました。(桜)

1 日にどのくらいスキンケア、メイクに時間を費やしているかを伺いました。台湾の女性は 1 時間以上費やしている人が多いのではないかと考えていましたが、結果は 0 分～30 分が 1 番多く日本とさほど変わらないのだなと思いました。しかし、私よりも年下の人でも 2 時間くらい費やしている人がいて、びっくりしました。全体的に外見が日本人よりも大人っぽく見えました。(舞)

午後は、糖村、台北犁記、新純香に赴きました。そこでは最も売れている商品や、客層についてお伺いしました。

1 日中歩き回ったため、足が棒になり疲れたことは否めませんが、台湾人の暖かさを感じ、達成感で満ち溢れた1日でした。

2 日目はお土産さんは紅櫻花食品、維格餅家に行きました。店員さんにインタビューをしたり店の雰囲気や商品を調べたりしました。店ごとに商品のパッケージの雰囲気に統一感がありました。好みの外見のパッケージがまとめて置いてあるとお客さんは色々たくさん買いたいと思うので、これがお土産を多く売るための工夫なのだと思います。

誠品生活のバックや、化粧品のお土産の店員さんのお話から美容についての考え方はそれぞれだけど、努力をすることは自信に繋がることなので、自分の肌に合うものを色んな商品を試しながら探すことが大切なのだと感じました。

2 日間ガイドをして下さった学生の方と様々なお話をすることで台湾の人は人はそれぞれ違う考え方があり、それぞれ違って良いという考え方が日本よりも浸透しているのかなと思いました。

ガイドして下さった学生の方、先生方、JTB のガイドさん、取材にご協力して下さった方、全ての方に感謝し、自分たちの研究をより深いものにしたいと思います。ありがとうございました。

原科、馬場

11/16

大学生の陳さんと出会い、まずは北投図書館を訪れました。温泉街に位置する北投図書館は、まるで美術館のような美しい建物でした。一階二階はテラスがあり風通しと光が心地よい図書館でした。地下一階にはずらりと子供用の本が並んでいました。子供用の本には振り仮名があることが判明しました。スマートフォンで中国語を入力する際にもこの振り仮名を使うそうです。子供用の本棚にも大人用の本棚にも日本語を勉強するための本がありました。陳さんに聞いてみると台湾には日本で言う英検のような日本語検定があるということがわかりました。また、その他にも中国語で翻訳された日本の絵本や小説がありました。図書館を一周してみて外観以外は日本と似たものであることがわかりました。

その後、陳さんが美味しい紅茶の店と B 級グルメのローカルフード、魯肉飯のお店に連れて行って下さいました。行列のできるお店ということもありとても美味しかったです。午後は電車を降りたあと、自転車に乗って科学教育館と天文科学館へ行きました。まず驚いたのが建物の大きさと入場料の安さです。展示は沢山のジャンルに分かれていて小さい子でもゲーム感覚で楽しめるものも沢山ありました。実際に触ったりボタンを押して見たりすることができ、言語は分かりませんが見るだけで分かるものも多く楽しめました。天文科学館には乗って楽しめるアトラクションがあり、テーマパークのように楽しめました。

11/17

今日は政治大学へ行き、インタビューを行いました。まず初めに中学生に話を聞くと、圧力をかけられることではなく楽しいことならば頑張ることができるということがわかりました。また、進路への目標がある事が自分のモチベーションになっているようです。

次に日本語学科の学生さんにお話を聞きました。日本語を学習しようと思ったきっかけはアニメを見たことだそうで、だんだんと言語だけでなく日本の文化、歴史、建築に興味をもち始め、日本語の勉強への意欲が強まっていったそうです。最後に日本語学科の陳さ

んにお話を聞きました。勉強以外にも陳さんは写真を頑張っていて日々創意工夫をしテクニックを磨いていることが自分の成長に役立っているということが分かりました。一日を通し、自ら学ぶことが大切でそこためには楽しい→頑張る→知識を得る→それを生かすための目標を持つ→達成感を得るというサイクルを作ることが大切なのではないかと考えました。

17日の17:00、台北の中心、中山にあるエンペラーホテルのロビーで、二日間お世話になった大学生にお別れを告げ、貸切バスで政治大学国際会館へ向かいます。いよいよ最後の宿泊先。先も見えてきました。もう少しだ、頑張れ！









